

# 佐々木議員、危険なトンネル道路強行を追及 国交省「住民アンケート」に客観性なしと認める

2月25日、衆院予算委員会の第8分科会で、佐々木憲昭議員は、東海環状自動車道の岐阜市御望山（こもやま）ルート問題について前原誠司国土交通大臣に質問しました。



同ルートは、過去何回も崩壊を繰り返し、岐阜県からも「危険区域」に指定されている御望山の山中にトンネルを掘り、高規格幹線道路を建設するもの

です。

佐々木氏は、専門家・地域住民とともに国みずからも参加した御望山調査検討会が、「安全性は確認できない」と満場一致で結論を出したにも関わらず、国がそれを無視して強引に推進していることを批判。推進の「根拠」とされている「住民アンケート」が、国の意図するルートが最も安全であるかのように誘導する内容であることを指摘し、誰が作成したのかをただしました。

佐々木氏はまた、地域別の集計が未公開であるため各地域の意見が正確に反映していない点も追及。これにたいして、前原大臣は、「地区別にまとめて提出する」ことを確約しました。

さらに佐々木氏は、「検討会」に参加した専門家の意見も聞かずに国交省が独自に再調査を行ったことは税金の無駄遣いであると改めて批判しました。

金井道路局長は、ボーリング調査のためコンサルタント会社への委託費として約1億4千万円もの税金を使ったことを明らかにしました。

をただしました。

菅大臣は「自治体の判断だが、本来は実態調査を先にすべきだ。支払い能力がなければ調整して判断すべきだ」と答弁しました。

訴えました。

井上氏は建設的野党の立場での国会での奮闘ぶりを「政治とカネ」「景気・暮らしのたて直し」をテーマに訴えました。

## 熊野市と南伊勢町で 井上議員迎え演説会

井上さとし参院議員は、三重県熊野市と南伊勢町で2月28日に開かれた党演説会に参加し、近く行われる市町議選と参院選での躍進を訴えました。熊野市の演説会では中野たけし参院選挙区候補も訴えました。

南伊勢町の演説会の前には、町役場の災害対策本部を訪問し、小山巧町長にあいさつ。養殖いかだの破損などの被害状況を聞きとり、町職員や消防団の労をねぎらいました。

## 3・1ビギンデー墓前祭 かわえ候補が誓いの言葉

かわえ明美参院比例候補は3・1ビギンデーの1日、被爆してなくなった第五福竜丸の無線長、久保山愛吉さんの墓前祭で、党中央委員会を代表して、誓いの言葉を述べました。

かわえ候補は、今年5月にニューヨークで開かれる核不拡散条約（NPT）再検討会議に向けて「核兵器のない世界を」署名を集め、2010年を地球上から核兵器をなくす転換点にしていく決意を述べました。

## 差し押さえ禁止「税調で検討したい」と財務相

佐々木憲昭議員が、衆院財務金融委員会でも、年金や児童手当など差し押さえ禁止財産を、銀行口座に入金された直後に地方自治体が差し押さえしている問題を追及したことに對し、菅直人財務大臣が、「政府税調でしっかりと取り扱いたい」と改善を検討することを表明しました。

佐々木氏は、新設される子ども手当には、国税・地方税の滞納処分による差し押さえを禁止する措置が設けられているが、児童手当にも同様の規定があるにもかかわらず、残高のほとんどない銀行口座に振り込まれた直後、県税事務所に全額差し押さえられた事例があると指摘。これにたいして菅大臣は、「残高のない口座に振り込まれた手当を狙い撃ちするようなことは法の趣旨に反する」と答弁しました。

また、北海道千歳市での事例を取り上げ、「実態調査もせず、年金の差し押さえたのは違法行為だ」と政府の認識



井上議員と中野候補は、チリ大地震による津波の影響で電車の運行が遅れるなか、40分遅れで熊野市に到着し、参加者に